

すみだ北斎美術館建設工事に関する経過について  
墨田区長による地元説明会（2013/10/10）の記録

平成 25 年 11 月 28 日  
記録 富岡達郎

- ◆日時：平成 25 年 10 月 10 日（木）19：00～
- ◆場所：亀沢 2 丁目会館
- ◆進行：堀均（北斎通りまちづくりの会）
- ◆出席：亀一：吉兼剛光 田中三男 間瀬時重 宮下友良  
           亀二：霜鳥忠男 木幡秀和 関本昇 松本久史  
               高城一義 田中悟志 小橋清孝  
               田中経男 高橋宏明  
           亀三：本間和義 林英俊 行方輝治  
           亀四：飯沼喜久夫 大井順一 岸成行  
           北斎通りまちづくりの会：小林俊介 小林京子 廣田達夫 村上美奈子 堀川顕彦  
   今井健 安斎好子 田中智子 鈴木佳子 富岡達郎



墨田区長：山崎昇

墨田区区民活動推進部参事：鹿島田和宏

墨田区文化振興課：和田幸恵 宮澤敬昌 斉藤重明

墨田区営繕課：萩原和富

墨田区都市計画課：和田聖子

（敬称略）

（進行から）

本日は墨田区長をはじめ区の方々にお越しいただき、地域住民の方々へ北斎美術館に関するご説明をいただく場を設けました。区長からのご説明の後、意見交換の場があると思いますが、発言の際に名前及び町会・所属を伝えていただけますか。まずは開会の挨拶として、北斎通りまちづくりの会小林会長から挨拶をお願いします。

（北斎通りまちづくりの会 小林会長より開会の挨拶）

6月12日に鹿島田氏にお越しいただき、北斎美術館に関する地域懇談会を開き、地元と一緒に美術館建設へと向かってきました。しかし、9月21日の区報にて状況が変わることが知らされ、建設延期になってしまいました。本日は山崎区長にお越しいただき、今後の美術館建設に向けて説明していただくことになりました。また、YKK向かいの敷地についても、今後どのようにしていくか興味があります。本日はお越しいただいた各担当課の方々に対しても、お話を伺いたいです。

（鹿島田参事より挨拶）

本日は北斎美術館建設をめぐる経緯についてお話させていただきます。まずは区長より挨拶をさせていただきます。

(山崎区長より挨拶及び説明)

本日はお忙しいなかお集まりいただき、ありがとうございます。まずは美術館建設が延期になったことへの陳謝を致します。

北斎美術館は東日本大震災により計画が2年延期しましたが、今年になっていよいよ着工の流れになりました。美術館建設に際し財源の確保が必要でしたが、スカイツリー建設に伴って関連施設整備のためのまちづくり交付金として建設費の40%が補助される制度があり、北斎美術館建設をスカイツリー関連施設整備対象として国に申請し、国より認可されました。交付金は平成25・26年度の期間となっております。国からの交付金が得られると、都からも交付金が出る状況になり、墨田区の負担額は減ります。

ところが、いざ入札までこぎつけたものの、入札に名乗りを上げていた2つの業者が入札を辞退してしまいました。理由としてはいずれも建設コストが合わないということでした。設計プロポーザルの際、176の提出案の中から妹島和世氏の案を最優秀案に選びましたが、妹島氏は建築界のノーベル賞ともいえるプリツカー賞を受賞している設計者で、入札業者が通常での見積り価格では引き受けられないということでした。入札不調はあったものの、その時点では平成26年度末、つまり平成27年3月までに工事が完了しないと、墨田区が工事費を全て負担しないとならないと思い、再入札の運びとなりました。

並行して敷地での埋蔵文化財調査を行ったところ、敷地のJR高架側にて大きなコンクリートの塊が見つかりました。また、土壌汚染を調べたところ、鉛とフッ素が見つかりました。

入札が不調になったことの報告とともに、地中からコンクリート塊が見つかった等のことを国土交通省に説明しましたが、地下構築物撤去等の理由ならば交付金期限を延期しても構わないとの理解が得られ、なおかつ工事の増額分に対しても交付金が得られる事になり、スケジュールの延期を決断致しました。皆様にはご心配とご迷惑をおかけしましたが、財源確保という最も大切なスキームが得られました。妹島事務所とは相談をし、設計について見直せる所は見直して欲しいという話になりました。

スケジュールについては6ヶ月～1年程度遅れる事になりました。墨田区は葛飾北斎を顕彰するために平成元年から作品を集め始めました。国際的な北斎コレクション収集家のピーター・モース氏が亡くなった後、ご遺族の理解もあり区が北斎作品や研究資料を一括取得しました。また、日本人の北斎コレクターである故檜崎宗重氏からも、コレクションの一括寄贈を受けています。結果、これまでに1400点を超えるコレクションを墨田区は持っています。

近年、墨田区には新しくマンションがたくさん出来、新しい住民が増えています。地元として誇れるものが少ないなか、新しく出来る北斎美術館が地元の誇りとなり、地域活性化やより豊かなまちづくりのきっかけとなるようにしていきたいです。

来年、以前の通信博物館が郵政博物館としてスカイツリータウンにて開館します。また、渋谷にあるたばこと塩の博物館が2年後に横川にて開館します。既にある江戸東京博物館、両国国技館、上述の2つの博物館に北斎美術館を合わせて、地域活性化へとつなげていきたいです。

(鹿島田参事より添付資料の説明) ※添付資料参照

(鹿島田参事)

6月12日に行われた地域懇談会にて話が出た駐車場や夜間通用口、その他の問題については地域の皆様と話し合っていきたいです。また、本日より墨田区役所にて北斎漫画をテーマにしたイベン

トを行っておりますので、お時間のある方は是非お越しください。  
それでは、本日お集まりいただいた方からの意見や質問等をお願い致します。

(山崎区長)

一点申し忘れてましたが、世界の美術館をみると企業スポンサーや個人サポーターを集めて上手に運営しています。私自身、これから大手の企業をまわり、スポンサーを集めていきたいです。皆さんの中からもサポーターが出てきていただけると嬉しいです。

(亀二住民から)

いただいた添付資料での説明について予定価格 18 億 5 千万円とあるのは総工費ですか？別途工事はありますか？

(鹿島田参事)

18 億 5 千万円は建物の本体工事のみです。その他に別途工事があり、トータルでは 25 億円程度が総工費になります。

(亀二住民から)

工事に関し、地域住民への説明会を開く予定はありますか？

(鹿島田参事)

JV（工事を行う企業共同体）が決まり次第、地域住民への説明会を行います。

(亀二住民から)

前回の説明会から内容が変わっています。いつも物事が決まってから我々に説明がなされています。建設に際し、緑町公園での子ども達の遊び場を確保しながら工事は出来るのでしょうか？緑町公園が出来た経緯として、当時の大蔵省などが土地を出し合って敷地を確保していることがあります。また、以前の説明会では、北斎の絵を見たい外国人のために美術館をつくると聞きました。

(萩原営繕課長)

「外国人のために美術館をつくる」という言葉がありましたが、前任の部長が「外国人が多く来る状態になったので墨田区を回遊してもらいたい」という主旨で以前に発言したと記憶しています。工事を行う際、緑町公園を全て閉鎖することは無いですが、利用できなくなる部分も一部はあります。詳しくは工事前の地域住民への説明会の際に、お伝え致します。

(亀二住民から)

地域住民への説明会の際も、「物事が決まってからの説明」になるのではないですか？

(山崎区長)

まずは業者が決まった段階で施工者と区で説明をし、地域の皆様からの施工に対するご意見を聞かせていただいたうえで、施工に反映していきます。

(鹿島田参事)

工事中は緑町公園の一部はどうしても利用できなくなります。美術館ができたときに遊具の位置が今のままで良いのか、地域の皆様とも話をさせていただきたいです。

(亀二住民から)

前回の懇談会時に話がありまして、美術館へのアプローチは緑町公園を通るようになりますが、間違いありませんか？

(山崎区長)

公園機能を無視してやるようなことはしません。

今後、改めて地域の皆様の意見を伺って決めていきたいです。以前、町会長には色々と尽力していただいたことを理解しております。

(亀二住民から)

美術館の建設地が移転されたことに関しても、区は決定してから地域住民に対し説明をしています。区議会の決定が重要なのは理解できますが、地元ともっと相談をして欲しいです。

(鹿島田参事)

現実的に考えて、美術館へのアプローチは緑町公園からも入っていきます。そこで、お子さんが遊んでいるときに、どのようなことが考えられるのか。現時点では白紙の状態です。

(亀二住民から)

前回の説明会では、緑町公園は美術館へのアプローチとしては使わないという話でした。

(亀二住民から)

美術館敷地脇のテニスコートやゲートボール場は、建設中はどうなりますか？

(萩原営繕課長)

そのままにしておきます。

(亀二住民から)

建物外壁の太陽光の反射が気になります。特に夏場です。この話題は今回の説明会の主旨とは異なるでしょうから、次回の説明会で改めて話させていただきます。

(萩原営繕課長)

計画説明会の際に反射の影響を少なくするという回答をしております。ただ、今後の工事費の圧縮もあり、外壁材料については設計者に再検討してもらいます。

(亀二住民から)

前回の説明会の際に、敷地脇のテニスコートは駐車場にする話がありました。

(萩原営繕課長)

テニスコートの一部に駐輪場を設ける話はさせていただきました。

(文化振興課斉藤氏)

そのようには話しておりませんが、かなり昔に駐車場を設ける案としてお示しした経緯はあります。

(亀二住民から)

私の記憶違いなら、それで構いません。

(鹿島田参事)

説明会の間隔が長いから、認識にずれが出てしまうのだと思います。今後は説明会の頻度を増していきたいです。

(山崎区長)

YKKの前の敷地はしばらくの間、建て替えや耐震改修の必要な保育園の仮園舎を設けたいです。学童クラブと保育園の仮設として2～3年使いたいです。家庭センターは耐震上危なくなってきたので取り壊し、ボランティア活動も含めた地域の施設を設置したいと思っています。

(亀二住民から)

その際は地域住民の意見を聞きに来て欲しいです。

(亀二住民から)

美術館建設について、区議会の承認が無いと話が進まないはずですが、区議会の見通しはどのようなのでしょうか？

(山崎区長)

美術館の建設自体には議会は反対していませんが、財源について指摘があり、行政側で再検討しています。自分の責任をもって区議会に説明していきます。来年3月の議会の際に、検討したことについて話せる流れになると良いですが。

物事が順調にいけば、来年6月頃に工事着工の締結が出来ます。そのスケジュールでいくと、平成27年の秋頃に開館できるかもしれません。国交省や都の補助金を上手く活用したいです。

(亀二住民から)

消費税は増えますが。

(山崎区長)

それにより、工事費が7千万円ほど増えてしまっています。

(亀二住民から)

今度の入札の際、工事業者が100%決まると言えますか？

(山崎区長)

震災復興および2020年のオリンピック需要により、下請け業者が確保しづらくなるでしょうが、なんとか努力するしかありません。

(亀四住民から)

18億5千万円という工事費は、本当に妥当な額なのでしょうか？1度目の入札時に予定価格を積算した人が再び積算しているわけで、金額の客観性が疑われます。

また、区長が9月3日に美術館建設への意気込みを所信表明された後に、区議会の議決を待たずして議案を取り下げています。このような体制で議会では大丈夫なのでしょうか。

(山崎区長)

今後はギアをバックにするわけにはいきません。ただ、先行きが不確定ではあります。

青天井でやる訳にはいけないので、積算を見直して努力するしかありません。

(亀四住民から)

区長が今から「不確定」と仰ると、我々は不安で仕方ありません。

(山崎区長)

設計見直しをして、財源確保の努力をしていきたいです。何とか頑張るので、ご支援宜しく願います。

(亀四住民から)

総工事費は25億円ということでしたが、鹿島田氏がTBSラジオに出られた際、31億円と仰っていました。また、ラジオの番組でアンケートをとったら、回答者の9割が建設反対でした。番組の中で、墨田区としては美術館開館を延ばせないという話がありました。モースのコレクションの取得に1億4千万円かけたのをはじめ、全体のコレクション取得に多額の金額がかかっているそうです。

(鹿島田参事)

建設に関わる工事費は25億円で、その他保管費などに6億円かかり、合計で31億円になっています。住民の9割が反対というのはTBSラジオ調べですが、実際のところは分かりません。区民をはじめとする来館者の方々にきちんとした状態で展示品を見てもらいたいので、色々と努力をしております。

(亀四住民から)

インターネットにて「すみだ北斎美術館」で検索すると、沢山の反対コメントが見受けられます。

(鹿島田参事)

承知しています。私たちは反対をしている方々にも説明し、一方では北斎を知っていただく取り組みもしていかなければなりません。

地域住民の方々が心配されている緑町公園との関連性についても、公園を通過して美術館にアプロー

ちする人がいるでしょうから、地元の方々の意見を伺って決めていきたいです。

(山崎区長)

私に入っている情報では、住民の9割が反対ということはありません。私宛に直接、美術館建設反対のハガキが届いていますが、100通もありません。

(亀四住民から)

9割反対というのは、予算の話聞いたうえでのことだと思われま

(亀二住民から)

北斎祭りの際、北斎通りで美術館建設をアピールしても、一般の人にはなかなか浸透していきません。また、予算の話聞けば、どうしても反対の意見が強くなってしまいます。美術館が出来た際の入場料金体系について、区民と区外の人とで入場料を変えることはありますか？

(鹿島田参事)

現時点では料金体系は正確には決まっています。入場料の差異についてはこれから検討中します。全国の美術館が文化行政として取り組むなか、黒字になっている所はありません。事業費や運営費等に対する区の負担に対し、公立美術館が行う文化行政としての取り組みを地域の方々からどのように理解を得ていくか、今後検討していきます。

(山崎区長)

入場料の区民割引は今後考えていきますが、どの程度にしたいかについては、今は言えません。

(亀二住民から)

まだ建設もしていない美術館の入場料の話をしては仕方ないですが、区の美術館なので区民に対しての入場料割引を考えて欲しいです。

(鹿島田参事)

入場料に関するシミュレーションは行っています。区が負担する運営費は年間1億5千万円ほどと見込んでいますが、消費増税もあり、今後変わっていくかもしれません。運営費は、人件費が大きなウエイトを占めますが、削りすぎるとサービス低下につながります。満足を得るための必要性は、きちんと判断していきます。

(亀二住民から)

以前に運営費は年間1億円と言っていました。

(山崎区長)

1億5千万円というのは、区民割引などの減免をした場合です。上手くやりくりすれば1億円ちょっとになるかもしれません。入場料収入増を見込み、いかに北斎美術館のファンをつくるかが重要となります。また、例えば年会費1万円のサポーター制度をつくることといったことも含めて検討して

いきます。

(鹿島田参事)

工事費よりも総事業費のほうを区民の皆様が知りたいということが分かりました。今後は地域の方々と密に話し合っていきたいです。

(亀四住民から)

先日、たまたま区長とお会いした際の立ち話にて、区長は「どうしても北斎美術館を建てたい。妹島さんに設計してもらい、世界一の美術館を建てたい」と仰っていました。それを、区民の前で、区民へ伝わるように仰ってください。区議会では何をやっているのか区民には伝わってきません。その熱意を区議会でも伝えてください。

(山崎区長)

区議会からも私の説明の拙さを指摘されています。これからは美術館建設にかかる熱意を出していきたいです。

(亀四住民から)

様々な方々に対し、きちんと説明して欲しいです。

(山崎区長)

了解しました。

(北斎通りまちづくりの会メンバーから)

亀沢をはじめ墨田区では新しく流入する住民が増えています。北斎美術館が既存住民と新規住民の架け橋になることを期待しています。美術館建設については、区長の生の声で、是非区民に対して説明をしていって欲しいです。

(山崎区長)

了解しました。

スカイツリーが出来ましたが、地元への還元が無いと指摘されています。北斎美術館はつくるだけでなく、地域の方々に良い効果が波及されていく施設となるよう努力していきたいです。

(亀三住民から)

1年前の北斎祭りでの区長挨拶の際、「美術館は来年から着工する」と仰っていました。その後に地元は盛り上がりつつありましたが、着工予定時期になってから工事延期と聞くと適いません。今後も足踏みされる心配があります。

(山崎区長)

その件については深く陳謝致します。ただ、今度失敗すると私の首が飛んでしまいます。今年の北斎祭りでは何と挨拶すれば良いか・・・



(亀三住民から)

どのような内容を話されるか、楽しみにしております。

(進行から)

そろそろ予定時間となりました。それでは最後に亀沢 2 丁目の霜鳥町会長よりご挨拶をお願いします。

(霜鳥亀沢 2 丁目町会長より閉会の挨拶)

美術館建設へは紆余曲折ありますが、区長をはじめ行政の方々が地域の方々と話し合って、より良い方向へと進むことを願います。

本日はありがとうございました。

以上

「すみだ 北斎美術館」建築工事に関する経過概要

◇平成 25 年度当初予算

建築工事費・設備工事費・展示制作費等のハード整備に係る所要経費を計上し、10 月に建築工事に着工する予定とした。

◇平成 25 年 7 月

建築工事入札公告（予定価格 約 11 億 2 千万円）

⇒ 2 共同事業者から入札参加申込み有り ⇒ 2 共同事業者とも辞退（不調）

【入札不調の要因について】

・美術館としての特殊性や設計コンセプトからくる複雑性等の困難度が高く、通常の公共工事の算出方法では反映しきれなかった。

◇平成 25 年 8 月

21 日：建築工事入札の再公告（予定価格 約 18 億 5 千万円、入札日 9 月 25 日）

◇平成 25 年 9 月

3 日：第 3 回定例会で区長所信表明

6 日：全町会長・自治会長会議で建築工事入札に関する経過及び対応について説明

20 日：建築工事入札中止の公告

※ 建設地において大きな地下構築物が発現したこと等により、事業計画の見直し（着工延期）が必要となったため、一旦、入札を中止し、改めて契約手続きを進めることとした。

25 日：全町会長・自治会長宛に、入札中止になったことについて通知

※ 今後の予定

地下構築物撤去等に要する工事を建築工事と一体の工事として施工すること及び一部資材や仕様の見直しについて、設計事務所と協議した上で、所要の経費を改めて計上することとする。